



年 組 名前

# 道新でワークシート

## 太陽光 + 風力 = 世界発電の12%

世界の太陽光と風力による発電量が2022年は前年から20%近く伸び、全体の発電量に占める割合も拡大して12・1%となったとの報告書を英シンクタンクのエンバーが12日、公表した。今後も伸びると予測し「化石燃料による発電が増加するのは22年が最後かもしれない」と分析した。日本は太陽光の割合が比較的高いが風力は極端に低く欧米や中国に水をあけられている。

発電量に占める  
太陽光と風力の割合

| 2022年 | 太陽光  | 風力   |
|-------|------|------|
| 世界全体  | 4.5% | 7.6% |
| 日本    | 10.3 | 0.9  |
| EU    | 7.3  | 15.1 |
| 米国    | 4.8  | 10.1 |
| 中国    | 4.7  | 9.2  |

※エンバーによる。小数第2位以下を四捨五入

速に成長している電力供給源」と評価している。ロシアのウクライナ侵攻に伴い天然ガスの供給が減り「石炭回帰」が懸念されたが、世界の石炭火力の発電量は1%増に抑えられた。それでも電源としては全体の3分の1を占め最大だという。

日本は太陽光による発電量が前年から伸び、風力はやや減少。石炭火力は増えた。発電量全体のうち太陽光が10・3%を占め風力はわずか0・9%。化石燃料は71・0%でG7の中で最大の割合だった。

EUは太陽光と風力の割合が22・3%、米国は14・9%、中国は14・0%で、いずれも日本の11・2%を上回った。

エンバーの担当者は「世界がクリーンエネルギーを実現する道は政府や企業、国民が今起こす行動にかかっている」と指摘する。

## 昨年 前年比 20% 伸び

2023年4月13日（木）朝刊 全道版 5ページ（記事は再編集しています）

- ① 太陽光発電と風力発電の割合は、前年と比べどのように変化したか。世界と日本の変化を、それぞれ書きなさい。
- ② 太陽光や風力発電などの再生可能エネルギーが拡大している理由を、考えて書きなさい。